



# iSclackを使ったiPhone 6 Plusの開口方法

ディスプレイアセンブリの必要要件

作成者: Walter Galan



---

## はじめに

ディスプレイアセンブリの必要要件

---

### ツール:

- [iSclack](#) (1)
-

## 手順 1 — iSclackを使った開口方法



**i** 次の2つの手順ではiPhone 6 Plusを安全に開口できる素晴らしいツール*iSclack*の使い方を紹介します。1回だけの修理に終わらない方には最適の工具です。iSclackをご利用になれない方は次の2つの手順をスキップしてください。

- プラスチックのデプスゲージが iSclack中央に挟まっている場合は外してください。iPhone 6 Plusのような大型のデバイスには必要ありません。
- iSclackのハンドルを閉じ、吸盤カップを開きます。

- iPhone下部本体を吸盤カップの間に配置します。

**i** ディスプレイ側の吸盤カップはホームボタン付近に装着します。

- ハンドルを開いてiSclackの両カップを閉じます。吸盤カップをiPhoneの両側にしっかりと取り付けます。
- バックガラスもしくはディスプレイの飛散状況が酷い場合は、[透明な梱包用テープで表面を覆って](#)から吸盤カップを装着してください。iSclackには、このような目的で使用するためのテープが2枚入っています。

## 手順 2



- iPhoneをしっかりと持ち、iSclackのハンドルを閉めながら吸盤カップを両側へ開いていきます。背面ケースからフロントパネルが引き上がってきます。
- ⓘ iSclackは安全にiPhoneを開口できるよう設計されていますが、ディスプレイケーブルに損傷を与えてしまうことがあります。
- iPhoneから2つの吸盤カップを外します。
- 次の3つの手順をスキップして手順7までお進みください。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。